購読案内

2025年3月5日 (水曜日)

会社概要

- - · · · · · ·

The Bunka News

マイページ

ログアウト

トップ ニュース総合

インタビュー

新聞

広告

出版

デジタル コラム

業界スケジュール

電子版アーカイブ

新聞人・出版人

検索

PubteX 書籍トレーサビリティシステム「BOOKTRAIL」商用サービスを開始

ニュース 出版 | BOOKTRAIL, PubteX, RFID, 書店, 書籍2025年1月30日



株式会社PubteXは、1月29日に書籍トレーサビリティシステム「BOOKTRAIL」の商用サービスを開始したことを発表した。

「BOOKTRAIL」は、書籍に装着され個体識別を可能にするRFIDタグを活用し、出版物の流通状態を可視化するシステム。書店向けと出版社向けの機能をリリースし、BOOKTRAIL導入店舗に配本された書籍の所在、移動履歴、在庫状況などをリアルタイムに把握することを可能とし、店頭在庫や販売条件の管理、棚卸の効率化や棚出しの最適化、万引き防止等の書店オペレーション・収益改善を目指す。

PubteXは「書店で本を選ぶ楽しみを次の世代へ伝えていく」をミッションに、丸紅と講談社、小学館、集英社が出資して2022年3月に設立。23年8月からはRFIDタグの新刊コミック等への装着を開始。続いて書店でのRFID活用に向けたトレーサビリティシステムのパイロット導入を、大垣書店(京都市)と有隣堂(横浜市)などの店舗で進めてきた。

【PubteX 1月29日から「RFID」商用サービスを開始 「AI発行・配本適正化」は25年度中に外販へ 渡辺順社長に聞く】









